

令和2年豪雨災害対策本部 『激甚災害』の早期指定を強く求める」鹿児島県視察報告

概要

令和2年7月9日（木）、二階 俊博 本部長を団長とする自民党調査団は、鹿児島県伊佐町を訪問し、山野川の堤防決壊による被害状況について、三反園訓 鹿児島県知事、隈元 新 伊佐市長、池上 滝一 湧水町長から報告を受けるとともに緊急要望を受けた。

本格的な復旧・復興にあたり、被災地に安心感を与え、力強く取り組むため、一日も早く『激甚災害』を早期指定することを、政府に強く求めるものである。

調査団

二階 俊博	幹事長・令和2年豪雨災害対策本部長
林 幹雄	幹事長代理・令和2年豪雨災害対策本部 副本部長
今村 雅弘	災害対策委員長・令和2年豪雨災害対策本部 事務局長
佐藤 信秋	災害対策委員長代理・令和2年豪雨災害対策本部 事務局長代理
福井 照	国土強靱化推進本部 事務総長

(鹿児島県連)

森山 裕	国会対策委員長・令和2年豪雨災害対策本部 副本部長
小里 泰弘	国土交通部長・令和2年豪雨災害対策本部 本部長

◆ 山野川の堤防決壊被災状況



◆ 隈元 新 伊佐市長より現況説明



伊佐市山野地区被災状況



小川内地区



荒平地区



石井地区



井立田地区



平出水地区



市道橋 崩壊
堂免橋

農道橋 崩壊

○雨量観測局（山野（国））	
総雨量	787mm (7/3 AM 5:00～ 7/6 PM 12:00)
最大時間雨量	116mm (7/4 AM 7:20～ AM 8:20)

公共土木施設	堂免橋崩壊
農業土木施設	農道橋崩壊

農地流出・埋没	
地区名	被災面積
小川内地区	12ha
荒平地区	14ha
井立田地区	19ha
石井地区	22ha
平出水地区	2ha
計	69ha



◆ 三反園 訓 鹿児島県知事より要望書手交



○ 令和2年7月3日からの大雨による
被害状況等 (7月9日20時現在)

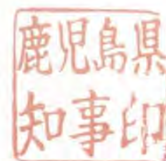
- ・ 被害地域：18市11町2村
- ・ 住家浸水被害：365件
- ・ 農業被害関係：127,246千円
※耕地関係は精査中
- ・ 道路規制：49箇所

<鹿児島県「7月3日からの大雨による被害への支援措置に関する要望」>

- 1 今回の災害については、広範に被害が生じており、県民の経済に著しい影響を及ぼす恐れがあることから、復旧・復興のため、早期の激甚指定をお願いします。
- 2 早期に復旧事業に着手できるよう、道路や河川、砂防関係施設等について、速やかな災害査定の実施並びに復旧事業等の採択及び予算の確保をお願いします。
- 3 被災農業者の経営再建と農業被害の早期復旧が図られるよう、農地、用排水路、農道等の復旧について、速やかな災害査定の実施や復旧事業の採択並びに予算の確保を行うとともに、園芸施設等の復旧への支援や農業共済金の早期支払いなどによる経営支援をお願いします。
- 4 山地災害に係る被災箇所の早期復旧のため、予算の確保をお願いします。
- 5 防災・減災、国土強靱化に資する公共事業の推進に必要な予算の安定的な確保をお願いします。
- 6 被災中小企業・小規模事業者の事業再開が迅速にできるよう、経営支援等をお願いします。
- 7 学校の被災施設・設備の早期復旧への支援をお願いします。
- 8 線路への大規模な土砂の流入等により、肥薩おれんじ鉄道やJR九州の複数の路線において運休が生じており、通勤・通学などに影響があるため、早期に全線復旧できるよう、特段の配慮をお願いします。
- 9 県及び被災市町が行う応急対策や復旧・復興対策等に係る財政負担の軽減のため、国庫補助負担金や特別交付税をはじめとした地方財政措置による十分な財政支援をお願いします。

令和2年7月9日

鹿児島県知事 三反園 訓



二階幹事長 ぶら下がり (概要)

- 7月3日からの集中豪雨、ご当地の皆さんが深刻な被害を受けられている様子は報道で承知していたが、今こうして現地に来て、状況をつぶさに拝見し、また県市それぞれの皆さんからもご要請をうかがうにつけて、大変深刻な状況にあることをつぶさに承知をしている。
 - 1日も早く、皆さんが元の生活に戻れるようにしっかりした対応をしていくことが、大事だと思うが、自民党は、全力を挙げてこれに対応していくので地元の皆さんも一緒になってこの状態にめげずにしっかり立ち上がってもらうことを心から期待をする。我々もただ見に来るだけではない。お伺いした以上は、必ず皆さんが元の生活に戻れるようにまでしっかり寄り添ってやっていく決意であることを申し上げる。
- Q) 「元の生活に戻れるように」ということで話があったが、政府に対して党として求めていくことはどういった部分になるか。
- A) 自民党が支えている政府なので、我々が現地見に来て、「これが必要だ」と政府に示したことをやってもらう。これは当然のことだ。
- Q) 激甚災害についても要望があったが、早期指定について幹事長はどう考えるか。
- A) 激甚災害については、雨が降っている最中に、今回は激甚災害に指定されるのかどうかということは分かる。(災害を経験してきたら)我々でも分かる。技術の専門家はすぐ分かるはずだ。瞬時にそういう対応をとっていかなければならない。被害が出てから暫く経って、激甚かどうかなんてボヤつとした対応ではダメだ。
- Q) 毎年のようにこのような水害で被害が出ている状況だが、改めて国土強靱化などの必要性について。
- A) いつも災害で被害が出た後でどうするこうするという議論になる。このような季節になったら、どこか弱いところが大変辛い目に、難しい目にあうわけなので、被害が出る前からあらかじめ、積極的に先手先手で対応していかなければならない。公共事業は必要性がなどと言う人がいるが、そういう人はただいつも言っているだけだが、無駄な公共事業なんかやっちゃいけないことは当たり前のことだ。そのようなことを言って、こういうことを遅らせてはならない。それから先にも申し上げたように、先手でいかなければ災害には勝てない。被害が出たあとでやるばかりではダメだ。長年ここに住み慣れている人は、災害にどこが弱いかどこが大変だかということは知っている。それに対して、地元はもとより、政府もしっかりと協力して、自民党は後押しするので2度とこういう災害被害に遭遇しないようにみんなでしっかりとやろうではないか。報道関係者の皆さんにも協力をお願いします。
- Q) 先手先手という言葉もあったが、雨が continuing している中で視察を今日のタイミングですると判断した思いは。
- A) やっぱり災害で困っている皆さんに常に寄り添ってやっていくという姿勢がなければダメだ。そういう意味で我々はできるだけ早く、しかも早いうちに、これだけ被害が出た地域がどうなるかとみんな心配しているわけなので、心配はいりませんよと、自民党は元通り復旧、それ以上の復旧の効果があがるように対応しますということを言って地元の皆さんに安心してもらえるようにしなければ政治にならない。そういう意味で早くやって参った。

大雨 二階幹事長らが現場視察 県内の被害状況を確認

7月9日 17時10分 鹿児島放送

大雨による被害の状況を確認しようと自民党の二階俊博幹事長と武田良太防災担当大臣が現場を視察しました。

二階幹事長は、川が氾濫し堤防が決壊した鹿児島県伊佐市大口の山野川を訪れ、被害の状況について県の担当者らから説明を受けました。二階幹事長は「大変深刻な状況にあることをつぶさに承知している。一日も早くみなさんが元の生活に戻れるように、しっかりした対応をしていくことが大事」と話していました。

一方、武田防災担当大臣は、土砂崩れが起きた鹿屋市の国道269号や避難所を視察しました。三反園知事は二階幹事長と武田大臣に対し、復旧に向けた早期の激甚災害の指定や予算の確保を要望しました。

「激甚災害の指定必要」 自民党の二階幹事長が鹿児島・伊佐市の被災地を視察

7月9日 20時12分 鹿児島テレビ

自民党の二階俊博幹事長が9日、鹿児島県内初の大雨特別警報に伴う雨などで被災した伊佐市の現場を視察し、激甚災害の指定が必要との認識を示しました。

8日午後、伊佐市の現場に入った二階幹事長。

県内初の大雨特別警報が北薩地域の4つの市と町に出された4日、伊佐市大口の山野川では複数の護岸が損壊し、道路陥没や家屋浸水などの被害が出ています。

県の担当者などから説明を受けた二階幹事長は、被災した自治体を政府が財政支援する激甚災害の指定が必要との認識を示しました。

「雨が降っている最中にこれが激甚災害かどうかは分かる。しばらく経ってから『これが激甚か』とボヤッとしていてはダメです」と話しました。

激甚災害に指定されれば、復旧費用にかかる国の補助率が引き上げられます。

自民二階氏が氾濫河川視察 鹿児島入り「大変深刻」

7月9日 17時53分 日本経済新聞

自民党の二階俊博幹事長は9日、鹿児島県伊佐市を訪れ、豪雨被害を受けた山野川の氾濫現場を視察した。記者団に「大変深刻な状況だ。一日も早く皆さんが元の生活に戻れるよう対応したい」と述べ、激甚災害の早期指定を政府に働き掛ける考えを示した。

現場では、倒壊したビニールハウスや豪雨被害を受けた水田を視察。地元自治体から復旧、復興に向けた要望書を受け取った。